

ベンチャービジネスコンテスト

鳳賞 馬淵さん 村木さん

第22回専大ベンチャービジネスコンテストのプレゼンテーション大会が12月2日、神田キャンパスで開かれ、馬淵航太さん(経営3)と村木英人さん(ネット情報2)による「祭りと若者を繋ぐ



熱のこもったプレゼンを見せた馬淵さん(左)と村木さん

プラットフォームMat link」が鳳賞に選ばれた。今回は61組が応募し、書類審査と事前プレゼン審査を通過した10組が本選に進出。審査員を務めた本学出身の起業家や教

員らの前でビジネスプランを披露した。鳳賞の2人が提案したのは、みこしの担ぎ手など人手不足に悩む地方の祭りと若者を結びつける「コミュニティ形成プラットフォーム」一過性ではない長期の交流を目指すし、参加者に地域の魅力を知ってもらう工夫を随所に凝らした。馬淵さんは「関係人口の増加や地域の活性化に貢献する社会的起業だ」と、プランの意義を強調した。

村木さんは「鳳賞は自信になる。いただいた評価をモチベーションに、在学中の起業を視野に入りたい」と語った。優秀賞には山口颯太さん(ネット情報2)のチームが、育友会長特別賞には菅野多一さん(商2)のチームが選ばれた。今回は、専修大学附属高からの応募も多く、1チームが本選に進出し、審査員特別賞となった。

ダイアログでは小倉さん(右から2人目)と学生がデザインをテーマに意見を交わした



ネットワーク情報学部20周年記念 NHK大学セミナー

講演と学生との対話

発酵デザイナー 小倉さん

ネットワーク情報学部20周年記念の一環として、NHK大学セミナーin専修大学が11月29日、生田キャンパスで開講された。フィールド演習」の授業を受講する学生を中心に約120人が受講。「人間以外の存在とともにデザインする可能性」をテーマに、発酵デザイナーの小倉ヒラクさんによる講演と、小倉さんと学生によるダイアログ(対話)が行われた。



講演する小倉さん

小倉さんは、アニメ動画「こうじのうた」や、測定データをもとに菌の声を伝える「ぬか床ロボット」といった制作物などを紹介。日本人と麹菌のかかわり、発酵文化の歴史や国内外でのフィールドワークなどについて考へる機会にしてほしい」とあいさつした。

小倉さんは、アニメ動画「こうじのうた」や、測定データをもとに菌の声を伝える「ぬか床ロボット」といった制作物などを紹介。日本人と麹菌のかかわり、発酵文化の歴史や国内外でのフィールドワークなどについて考へる機会にしてほしい」とあいさつした。

川村奈さん(3年次)が「人間以外の存在との関係」をテーマとしたフィールド演習の成果を発表した。小倉さんは「デザインツールが良くなり表現のハードルが下がっているからこそ、(なぜそのテーマに取り組んだか)動機を深掘りすることにつき込んでみては」と助言した。



飯田学部長(左)と藤井区長

ネット情報学部 多摩区に感謝状

長年にわたり学生の演習に協力したとして、ネットワーク情報学部が川崎市多摩区に感謝状を送った。

同学部では2011年 度から、2年次生の応用演習(メディアプロデュース)20年度から「映像演習基礎」で多摩区の魅力発信する映像制作に取り組んでいる。多摩区が審査を担当しているほか、取材や制作で多大な協力を得てきた。

12月11日、飯田周作学部長と、演習を担当している藤原正仁教授が多摩区役所を訪問。飯田学部長が藤井智弘区長に謝意を伝え、感謝状を手渡した。

個性豊かにキャンパスライフを送る

「イマドキ専大生」を紹介!

経済学部
生活環境経済学科

趣味はYouTubeを見ること。バスケ部で頑張っていますので、応援よろしくお願いします!

デザインもプログラミングも好きなことに全集中できる素敵な環境です

ネットワーク情報学部
ネットワーク情報学科

経営・岩田ゼミの2チーム アグコンでブロック優勝



実践的研究分野ブロック優勝を果たしたメンバー



学術的研究分野ブロック優勝を果たしたメンバー

農業、食、地域などに興味がある大学生が調査研究実践的研究分野には西村省吾さん、小黒紗矢香さん、木代成汰輝さん、崎野萌々子さん、床爪心音さん、林田珠奈さんのチームが挑んだ。ジャンボンド・ヒメキの競争優位の源泉の解明というテーマだったため、インタビューによるナラティブ分析を用いて」と題して、産学連携先の長野県長和町で調査活動を行い、地域の特徴を生かして起業する際の成功要因を分析した。チームリーダーの西村さんは、「地方創生という大きな正解がないテーマだったため、意見をまとめることが一番大変だった。ゼミのテーマである『地方創生と管理会計』の両者の関係性について自分たちなりの答えを導くことができた」と話している。

学術的研究分野に挑んだのは岡隆輔さん、稲垣優花さん、川人つぐみさん、中村美咲さん、浜村真菜さんのチーム。パッケージ変更時に生じる余白が消費者反応と購買意欲に与える影響」と題して検証した。「余白の価値」に着目し、消費者に低コストで商品をアピールする方法を提案した。

アグコンは今年で7回目。実践的研究分野では、商学部石川和男ゼミチーム(市川凌平さん、井上綾乃さん、渡邊敬太さん、藤廣瑠夏さん、川口結音さん、甲斐琳久さん)が審査員特別賞を受賞した。

会計学研究所講演会



「60周年迎えた会計人会と共催」

専修大学会計学研究所で開催された。(大柳康司所長)の公開講演会「税を学ぶ」が12月5日、神田キャンパスとの共催で、商学部の柳裕治教授が担当する「税務会計論」の授業の中で実施した。柳教授がコメントを寄せ、学生たちに「報告者はそれぞれの分野で、楽しんで実務に取り組んでいる。皆さんもそういう人生を送ってください」と語りかけた。

所を運営する榎本会長は「ITが進化しても仕事がなくならない。コミュニケーション力を発揮するため、聞く・話す・読む・書く力を磨いてほしい」とアドバイスした。

遠藤副会長は、公認会計士の立場から会計監査について、国税審査官を経て税理士資格を取得した八ツ尾教授は、国税の世界を紹介した。

最後に、柳教授が各報告にコメントを寄せ、学生たちに「報告者はそれぞれの分野で、楽しんで実務に取り組んでいる。皆さんもそういう人生を送ってください」と語りかけた。

榎本会長は「地方創生と管理会計」の両者の関係性について自分たちなりの答えを導くことができた」と話している。

学術的研究分野に挑んだのは岡隆輔さん、稲垣優花さん、川人つぐみさん、中村美咲さん、浜村真菜さんのチーム。パッケージ変更時に生じる余白が消費者反応と購買意欲に与える影響」と題して検証した。「余白の価値」に着目し、消費者に低コストで商品をアピールする方法を提案した。

アグコンは今年で7回目。実践的研究分野では、商学部石川和男ゼミチーム(市川凌平さん、井上綾乃さん、渡邊敬太さん、藤廣瑠夏さん、川口結音さん、甲斐琳久さん)が審査員特別賞を受賞した。